

「ぐるっとタクシー」／「市街地デジタルタクシー」

◆ 周辺地域の居住者と市街地の居住者に対し、異なる制度とシステムにより同等のサービス水準となる移動支援策を提供

「周辺地域の居住者」⇒ぐるっとタクシー



- 少ない車両数で高い運送効率を発揮するため、株式会社未来シェアのAI自動配車システム「SAVS」を活用し、高齢者等が安価で気軽に利用できるドアツードア乗合タクシーを地元タクシー事業者等と連携して運行しています。
- 2020年4月に市内の一部で運行を開始し、3段階のエリア拡大によってスムーズな普及を図りました。
- 運行中に新規予約が発生しても、AIが最適な車両、乗合の適否を瞬時に判断し、リアルタイムで車載タブレットに新規予約情報、ルート変更を指示します。

「市街地の居住者」⇒市街地デジタルタクシー



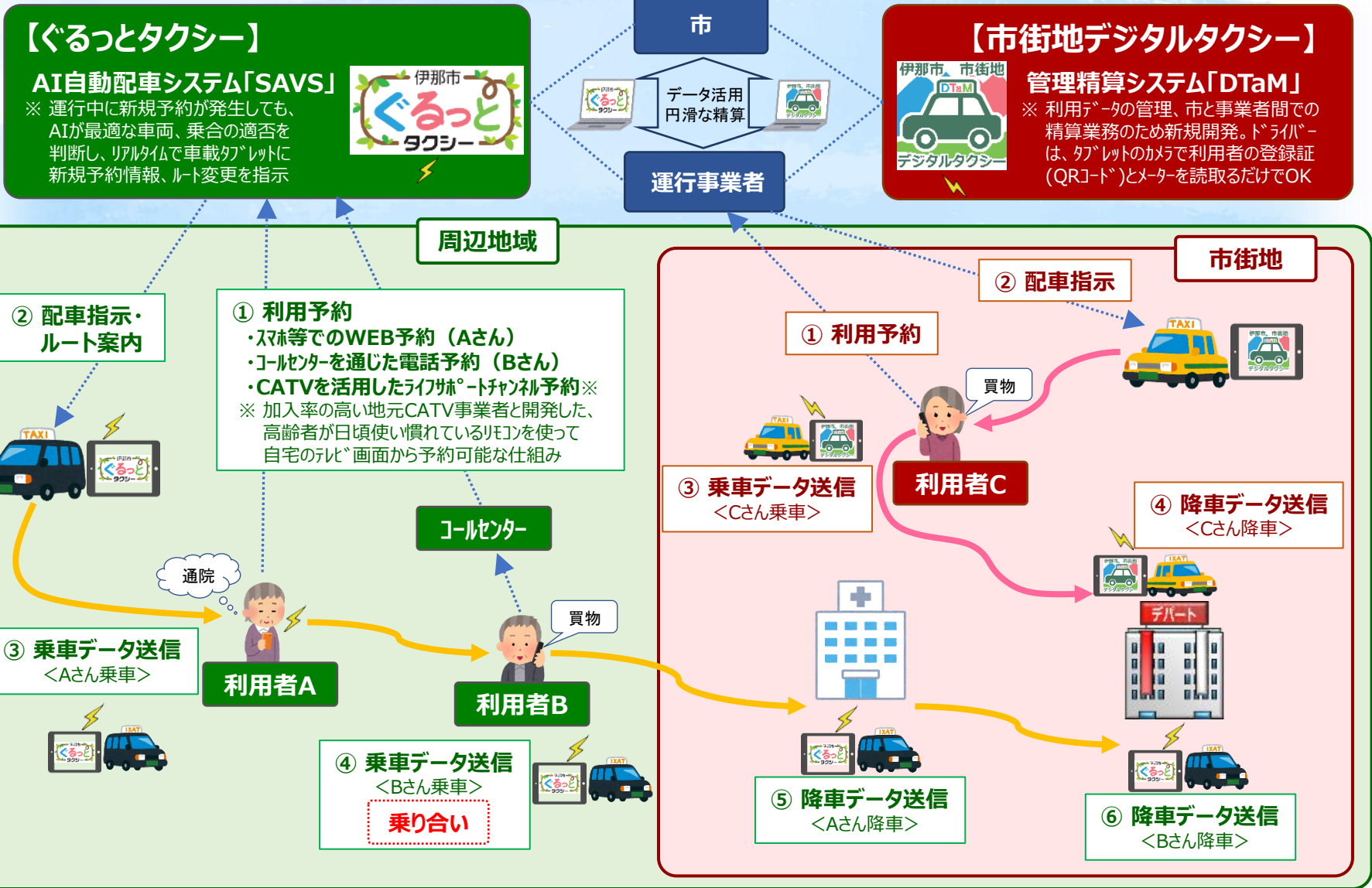
- 市街地へのドアツードア乗合タクシーの導入は、一般タクシーの営業への影響が大きいため、市街地では一般タクシー利用時の運賃補助による支援を採用しました。2022年8月からの実証を経て、2023年4月からサービスを本格提供しています。
- 対象者に乗車補助券を配布するアナログ方式は、ドライバーや経理担当者の負担となるため、利用者の乗降データ管理と市と事業者間の補助運賃精算業務を円滑に行うためのシステム「DTaM」を新たに開発しました。
※ [Digital Taxi Management](#) (システム開発：株式会社マイティークラフト)
- 他の自治体に「DTaM」を横展開することも可能です。

サービスの概要 (共通事項)

- 事前の利用登録制
- 運行日…月曜日～金曜日 (祝日を除く)
- 運行時間…午前9時～午後3時
- 利用対象者…高齢者 (65歳以上) 又は 障害者 (手帳等所持者)、運転免許返納者
- 利用料…1回 500円 (障害者 又は 運転免許返納者は、1回 250円)

交通弱者支援のための次世代型移動サービス (2/3)

【システムの全体像】



「ぐるっとタクシー」／「市街地デジタルタクシー」

利用実績など

- 利用登録者数（2023年3月末時点）
 - 【ぐるっとタクシー】 2,725人（区域内に居住する高齢者の18.7%に相当）
 - 【市街地デジタルタクシー】 795人（区域内に居住する高齢者の13.4%に相当）
- 年間利用者数（2022年度）
 - 【ぐるっとタクシー】 28,575人（1日当たり118.6人）
 - 【市街地デジタルタクシー】 9,851人（1日当たり 61.6人）※事業開始2022.8月
- 運行事業者数
 - 【ぐるっとタクシー】 4社（タクシー事業者3、バス事業者1）
 - 【市街地デジタルタクシー】 2社（タクシー事業者2）



導入の効果、サービスの提供価値

- 利用者の声（2022年度実施ぐるっとタクシー利用者アンケート）

「病院に行きやすくなった」……68.5%

「買い物に困らなくなった」……30.4%

「外出する機会が増えた」……14.6%

→ これまで送迎等を担っていた家族の負担軽減

「運転免許を自主返納した」…19.3%

→ 高齢者が運転する自動車事故の防止

- タクシー運賃負担の軽減 → タクシーが身近な移動手段に → タクシー利用者の裾野拡大 → 運行事業者の安定経営

- 伊那市が開発した「DTaM」の他市町村への横展開を許容 → 各地域で類似の移動支援の取組が可能

